

介護医療院 虹2F

介護医療院は、「住まいと生活を医療が支える新たなモデル」として創設され、要介護高齢者の長期療養、生活のための施設で、職員28名で、日々利用者さんの生活を支えています。

去年、インドネシアより、新たな仲間が加わってくれました。日に日に日本語も上達し、一生懸命利用者さんのケアに取り組んでいます。利用者さんから「遠い所からありがとう」と声をかけられることもあります。

コロナ禍のなごりもあり、自由に外出や大がかりなレクリエーションができない状況もありますが、創意工夫しながら楽しい時間や笑顔になれるレクリエーションを開催し、職員も利用者さんと一緒に楽しんでいます。今年もっと利用者さんに外の空気を満喫していただけるような機会を作りたいと思っています。

超高齢化社会の中で、100歳を過ぎてもお元気な方がたくさんいらっしゃいます。

身体的自立のみならず、尊厳を大事に持って生きていくことを支える「心の自立」にも重点を置きながら、利用者さんの生活をよりよいものにしたいと思います。



2F 師長 日野 千穂



リハビリ室

入所階：理学療法士 2 名、作業療法士 2 名（1 名兼務）、言語聴覚士 1 名

訪問リハビリ：理学療法士 2 名、作業療法士 2 名（1 名兼務）

虹入所階・訪問リハのスタッフがそれぞれの部署を兼務しながら、ご利用者様の目標達成に向けて、チーム一丸となって頑張っています。

入所階リハビリ

虹に入所中の利用者様の生活がより豊かになるようリハビリを通して支援しています。また、自宅に帰られる方の自宅復帰支援も行っています。



8 か月ぶりに念願の家に帰ることができ
るぞ😊やったー！

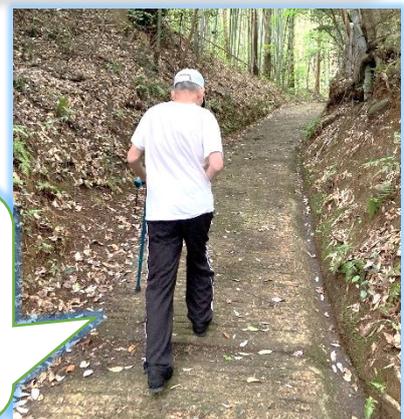
訪問リハビリ

生活するうえでのお困りごとはもちろん、外には出たくない・出られない方も対象としています。中には外出のための 公共交通機関の利用や趣味を目的とする方まで！ご自宅に伺うため「生活に直結したリハビリ」を行うことができます。



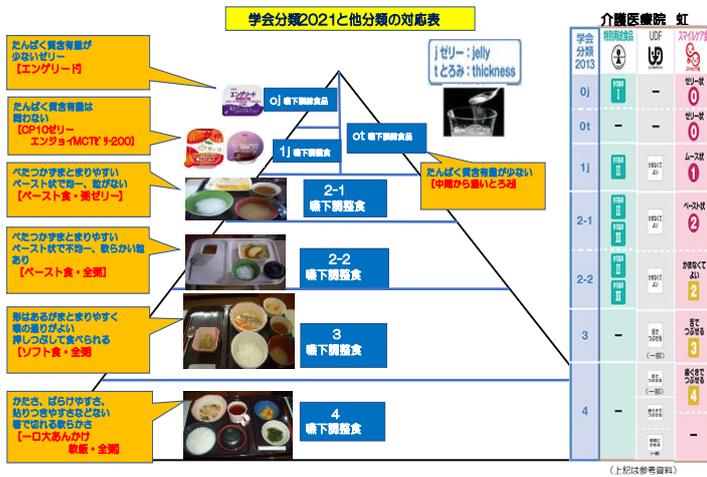
家の中では車椅子。20 cmほどの玄関の段差がネックとなり外出が大変な状況でした。訪問リハビリを利用し、階段状の手すりを設置。練習を重ねることで家族の介助で可能に！最近ではご近所さんとの交流や外出を楽しまれています。

脳梗塞により片麻痺となった。
生活もままならないであろうと不安だったけど、今では趣味だった登山に向けて練習中！



栄養課

虹の食事は日清医療食品さんに全面委託しています。
 楽しみの一つである食事を美味しくまた安全に召し上がっていただけるように
 日清さんと協力しながら食事提供を行っています。



食事の飲み込みに細心の注意が必要な方が多数入所中です。多職種で相談しながら安全に提供できるように取り組んでいます。そのため食事形態分類表を作成しています



通常の食事が提供できない緊急時でも食事提供が継続できるように備蓄食を準備しています。栄養課職員が不在時でも提供できるように職員で共有しています。



食堂で楽しみに食事を待ってくださる利用者さんのために奮闘中

施設管理栄養士は食事時間のラウンドや、日々のカンファレンス・褥瘡回診等に参加しています。利用者様の状態を把握し、他職種と相談しながら利用者様にとっての最善を考えています。これからも他職種や日清さんと連携を取りながらお口から召し上がる方胃瘻や腸瘻での栄養管理が必要な方、皆様に少しでも穏やかに虹での生活を送っていただけるように支援していきます。

虹薬局

薬局は薬剤師1名、調剤補助1名（常勤）で業務を行っています。
通常の調剤業務の他配薬セット業務、各委員会への参加、褥瘡回診への参加、各入所階のカンファレンスの参加も行っています。松江生協病院薬剤部の薬剤師と勉強会を行うこともあります。
他職種とコミュニケーションを取りやすい環境となっているため、利用者様により良いサービスを提供することができます。

「薬=薬剤師に頼る」という職場環境のため薬剤師としての職能を十分に発揮することができ、他職種と共に解決策を考えることでスキルアップができるのではないかと思います。
相談しやすい、頼りになる薬局を目指し日々業務を行っています。



出資活動で薬局カフェを
しています
(コーヒー等おいてあり
ます)



職場紹介 介護医療院虹 3階

3階フロアは平均58人の利用者様(平均年齢87.8才、介護度3.5)を看護師16人、介護士13人の職員が介護支援しています。虹に入所される目的は様々で、在宅復帰支援から看取りまで多岐にわたりますが、虹の理念である「ひとり一人の願いを大切に、人権、人格を尊重」した支援を心掛けています。

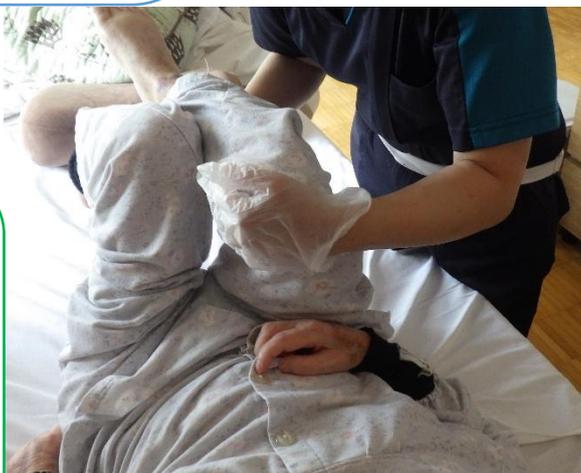
3階のここが自慢①

利用者様に笑顔になってもらうことを受け持ちの職員が中心となって考え、実践しています。室内でできることで、塗り絵や計算等のワークが人気ですが、ちぎり絵をされた利用者様がおられました。最初はやったことがないと消極的だった利用者様も完成した作品に大変満足され、「明日の新聞に載るかな〜？」と上機嫌でした。その言葉を聞いた職員は「新聞にして見せてあげよう」と、オリジナルの新聞(虹スポ)を作成し、翌日本人に見せると、満面の笑顔を見せて下さいました。自分のことが記事になるのはやはり嬉しいもの。これ以降、利用者様の誕生日や面会等を記事にして虹スポを不定期で発行中です。



3階のここが自慢②

3年前から専門チームを立ち上げました。リハビリ科の職員から、ROMについて学び、実際にやってみて、マッサージすることで気持ちよくなってもらおうと毎日約5分間のリラクゼーションタイムを設けて行っています。短時間ですが、継続することで大きく拘縮が進行した方もなく、予防に役立っています。



3階のここが自慢③

3階の良いところは?と聞くと、「職員同士で協力できるところ」です。皆で話し合い、協力して取り組んでいます。少々大変なことも利用者様のためなら…と、実践しています。これからも利用者様も職員も笑顔になれる職場を目指します。

クリニック 虹

1：外来業務 （介護医療院虹の外来業務）

対象患者：介護医療院の職員・高齢者住宅（なないろ・ふらここ）に入居されている方を対象としています

・慢性疾患の方や、腰痛等の対応を行っています

診療日：月：益永先生
水：平先生
金：平先生

診療時間：9時40分～12時

受付：9時まで



2：インフルエンザ・コロナ・その他のワクチン接種

職員及び高齢者住宅の希望者を対象に行っています

3：職員健診後の健康管理のサポート

・健診センターからの1期・Ⅱ期・Ⅲ期の健診結果を元に治療が必要な人に受診を進めています

